

研究の全体構想

学校教育目標

生き生きとしたみどりの子

研究主題『自己の学びを創る子供を育てる』

思いや願いをもち、事象（対象）と連続・発展的に関わり、他者と協働的に学ぶことで考えを深め、新たに資質・能力を獲得する子供（「かしこい子」の姿）

学校で育成する子供の姿（考える力が高まった子供の姿）

どの教科等でも、また、学校生活や社会（家庭や地域）生活の中でも、自在に「考えるための技法」を使って考える（協働的に問題を解決したり、自分なりの答えを生んだりする）姿

副題『考える力を高めるカリキュラム・マネジメント』

各研究部の主題（探究の学びにより各教科等の考える力が高まった姿）

深い学びの姿（探究の学びにより単元における考える力が高まった姿）

視点1 教科等間の「考えるための技法」の活用・発揮

・教科等の特性をもとにした、思考の分析
↓
・他教科等で同じ種類の「比較」や「関連」を抽出
↓
・生活科・総合的な学習の時間、研究教科を核とした「考えるための技法」の活用・発揮

視点2 探究的に深い学びに向かう単元構成

・子供が創る学習活動
・個別最適な学びと協働的な学びの位置付け

視点3 単位時間の考える活動の充実

・個別最適な学びの中での個への支援と見取り
・協働的な学びの中での個の把握に基づいた考えを深める支援（ファシリテーション）

教育活動全体のカリキュラム・マネジメント

授業のカリキュラム・マネジメント

教科等の本質を大事にした学びの構想
（教科特有の考える学習）

研究の基盤

子供が創る（回す）学級・授業 目的的に考えること 心を開いた学級経営